

0125

極秘

五 水戦機密第二六號ノ九

自昭和十七年三月一日
至昭和十七年三月十日

月一日發行

9
9

第五水雷戦隊戦時日誌

第五水雷戦隊司令部

五	四	三	二	一	
作	戰	戰	魔	令	經
戰	戰	戰	達	員	員
經	真	訓	下	考	報
過	真	訓	艦	報	現
概	要		艦	告	過
要			部	狀	目
			隊	等	次
			行		
			動		

(目次終)

自昭和七年三月一日
至昭和七年三月十日

第五水雷戦隊戦時日誌

一、経過
陸軍揚陸掩護状況

三月一日 〇〇〇〇メラク 方面又「バントム」湾方面
三月一日 〇一四〇「バトル」方面何レモ無事豫定
錨地ニ入泊ヲ了シ陸軍部隊ハ上陸ニ成功
セリ
爾後陸軍側揚陸作業ハ着々進捗シ十日
迄ニ「界」揚陸作業ノ終了ヲ見タリ
此ノ間當隊ハ輸送船泊地ノ警戒戒ニ任ズル
ト共ニ空船ハ當隊駆逐艦ヲシテ順次「カリ」
海峡北口附近迄護衛左ノ如ク帰還セシメタリ

- (一) 三月四日一五〇〇文月、早月、般還輸送船十四隻
護衛「ヌラク」發（輸送船ハ昭南島ニ回航ス
「カリマタ」海峽北口附近迄護衛ス）
- (二) 三月五日一八〇〇長月、般還輸送船八隻護衛
パトリール發（輸送船ハ昭南島ニ回航ス「カリマタ」
海峽北口附近迄護衛ス）
- (三) 三月七日一三〇〇水無月、般還輸送船十隻
護衛「バンタン」灣發（輸送船ハ昭南島ニ回
航ス「カリマタ」海峽北口附近迄護衛ス）
- (四) 三月十日一三〇〇朝風、般還輸送船十一隻
護衛「バンタン」灣發（昭南島ニ回航ス）
- (五) バタビヤ「沖海戦」
輸送船隊南下中二月二十七日來「バタビヤ」港外

附近ニ出沒シアリシ敵艦艇ハ二月一日〇〇〇ノ我が輸
 送船隊バンナム湾及メラク沿岸地區入泊ヲマシタ
 ル直後即チ三月一日〇〇〇五敵巡洋艦ヒーストン(米
 大巡)バース(濠乙巡)ノ二隻「バンナム湾泊地」ニ
 來襲セリ
 當隊ハ直ニ50d(20dg)松風鉄11dgヲ集結20KS及敷波
 ト協力夜戦ヲ決行「バンナム湾外」ニ於テ此ノ
 敵ヲ撃滅セリ
 詳細第五水雷戦隊戦斗詳報第四號参照
 (ハ)泊地周辺ノ警戒
 三月一日「バンナム湾」沖海戦後引續キ残敵掃蕩
 中敵掃海艇(Sin Aik Lee)一隻ヲ泊地(バンナム

(ホ)

三月十日附當戰隊ハ解隊セラレ
 名取ハ168^{22dg}ハ2K7附屬5dgハ1K7附屬ニ夫々
 編入セラル

(ニ)

第十六軍主力第二次輸送船團護衛
 バタビヤ方面上陸第十六軍第二次輸送船團護
 衛ノ為^{22dg}ハ三月六日「バタビヤ」方面發「カムラン」灣
 ニ回航ス

灣)外方ニ於テ名取拿捕セル外屢次泊地ニ來
 龍衣セル敵潜水艦ヲ攻撃撃沈或ハ防潜網ニ依
 リ爆破シタルモノ計六隻(内稍確實ニ隻ヲ含)ニ
 又ベリ

二人口員、現狀
 (1) 司令部
 (2) 職員官氏名

職	司令官	戰隊隊長	參謀	同	同	同	司令部附
主務			首席	砲術	通信	機關	暗号
官	少將	機大佐	中佐	少佐	大尉	機大尉	無常長
氏名	原 顯三郎	三品 武夫	由川 周吉	辻 本毅	岡 島次郎	大西 好雄	藤田 勝
記	補 165 司令部官	補 165 司令部官	補 165 參謀	補 165 參謀	補 165 參謀	補 165 參謀	補 165 司令部附

麾下總員數

名	取	一	六	四	二	四	一	七	三	〇	六	三	四	七	〇
二	十	一	六	七	二	一	二	三	五	四	〇	〇	六	七	九
五	駟	一	六	七	三	一	一	八	〇	四	二	七	〇	六	六
合	計	四	八	一	八	八	六	五	三	二	一	三	四	一	〇

(三)

下士宦兵興，他員數

兵	員	記
糧	數	事
兵科	一	
工作科	二	
主計科	四	
備人	六	
合	一	
計	二	
	四	

三月二二日 吹雪艦長	三月二二日 海軍指揮官	三月二二日 海軍指揮官
三月二二日 吹雪艦長	三月二二日 海軍指揮官	三月二二日 海軍指揮官
吹雪艦長第二番電 敵巡洋艦二隻見ユ 地奥バビ島、九。度五雲 我位置バビ島、二七。度二理 〇。〇。一五	海軍令作第三號 第二兵力部署トナセ 二三五〇	海軍令作第三號 敵艦ハ黎明時我カ対空警戒 手薄ナル時様ニ来ジ船周有地 ニ支テタルヲ例トスルニ鑑ミ明日 以後初黎明時爲シ得ル限リ早 キ時様ヨリ對空警戒機派出 ノトニ御配慮ヲ得度
〇。〇。一五	電 無	〇。〇。一五

(24)

一月〇三〇 三隈艦長	一月〇四〇〇 359 指揮官	一月〇五〇〇 359 指揮官
一月〇四〇八 508 各司令官 37 27 各艦長 (最上級被艦長)	一月〇六三〇 同 左	一月〇五四〇 各司令官 南印部隊 南印部隊 各指揮官 各參謀長 次官次長 南印部隊 各司令官 馬來部隊 各參謀長
三隈機密第四六番電 我雷擊隊砲撃ニ依リ敵巡洋艦 二(内一隻ハ米東巡洋艦)ヲ確実 ニ撃沈(照射ニ依リ最後ヲ確認)	359 機密第四三番電 パトリール方面上陸成功 。四〇〇。	359 機密第四一番電 輸送艦隊ハメラク方面バンタン 灣方面共一日〇〇〇〇人全部 無事入消ヲ了シバンタン灣 ハ〇〇〇メラクハ〇一四五 上陸成功セリ

	一月〇四〇〇 由良艦長	一月〇五五〇 海軍指揮官
	一月〇四五〇 37 艦長官 50 各司令官	一月〇八四〇 司令官 南印部隊 南才部隊 各指揮官 97 艦長官 大臣總長 147 長官 989 司令官
三隈 最上ハ異狀ナシ敷波 至近 彈ニ依リ推進器故障 三戦速ニ出シ得ル 。ニ三〇	二號方面第一日上陸成功 。四〇〇	海軍密第四五番電 一、本日夜間战斗中。一三七掃 二、ハ、タラハン島ノ一二五度 三、一機（機位）ニ於テ沈没セリ 四、雷ニ触レル疑アルモ確實ナス 五、詳細取調中 六、輸送船龍城丸、蓬來丸、佐 倉丸計三隻ハ敵機砲雷密 ニ依リ沈没セリ 三、捕虜力言ニ依レバ敵ハヒューズ
	電 無	

一日。八〇〇 3段指揮官	一日。四〇〇 司令	
一日。三三七 司令官 南方部隊 南方部隊 各部隊指揮官	一日。六四〇 3段指揮官 總長大臣 16長官3段員 (横領長官)	
3段機兵第五番電 第三護衛隊(南方) 戰鬥概報 第一號 第三護衛隊八第十六軍	又、バーズ、二隻ナリ。 敗走第一番電 戰鬥概報 五月一日 北東方ヨリ來龍衣ノ敵巡洋艦 ニ隻ヲ認メ、以テ直ニ掃海 ヲ中止シ、各般ヲ退避セシメ ニ号掃海飛ヲ率キ、パンダヤ ノ南方ニ於テ輸送船団ノ警 戒中。一三五同艇右舷鐵 道ニ與會命中、同部ヲ切斷 顯現セリ、死傷者目下調 査中。	

萬馬來部隊
各參謀長
次官次長
各指部保官

主力ヲ護衛二月十八日カムラ
ン湾ヲ出撃ニ二十四日、タンベラシ
島ノ九。度六。運附近ニ於テ
敵潜水艦一隻ヲ発見之ヲ攻
撃シ（効果不確実）制圧シツ
テ是ノ如ク行動シツツアリタルト
ニ、二十七日能一野飛行機ノ
敵有力部隊一大巡一復輕
巡ニ復驅逐艦一復）ヲ発見
、報ニ接スルヤ當隊ハ一時
輸送船四隻、ハンカ、島海峡
南口方面ニ避退セシメ、當隊
ハ大部ヲ拳ヶ第ニ戦隊ト
協力此ノ敵ヲ撃滅スル候
上陸決行ヲ企圖セルモ敵ハ
バタビヤニ港ニ進入セリ以テ
當隊ハ敵ノ防害ヲ排除

電

無

シツ上陸ヲ強行スルニ決ミタリ
 上陸日ハ時同ノ関係上一日延
 期ノ已ムナキニ至レリ斯クテ
 輸送船隊ハ航空部隊ノ
 強力ナル掩護ノ下ニ大ナル
 敵ノ抵抗ヲ受クルニトナク一日
 〇〇〇相前後シテ全部
 無事ニ是ノ地奥ニ入リ
 了ス
 陸軍部隊ハ既報ノ如ク
 上陸ニ成功セリ
 二(ハ)バンタン湾方面輸送船隊
 入有特艇用御向導中、春
 風ハ敵監視艇発見之ヲ
 砲撃ヲ拘生センメタリ
 次ニテ輸送船隊入有直後
 〇〇ニ九哨戒中ノ吹雪ハ

コビバレ 出、東方ヨリ「ヒューズ」
 バースト、來襲ヲ発見之ニ
 接触ス
 當隊ハ直ニ名取、11dg、12dg
 ヲ集結、ト連戦ヲ保ケ
 ツ、龍衣敷等ニ転ジタリ此ノ
 間敷等ニ依リ敵ハ大損害
 ヲ受ケ一昨雷ノ奥雷ニ中
 「ヒューズ」ニ命中、減速
 大混乱ニ陥リ、引續キ七戦
 隊ニ小隊モ戦斗ニ加ハシ
 其ノ有効、適切ナル砲雷撃
 ニ依リ最後ノ止メヲ制シ
 四六兩艦ヲ「バスター」砲北
 方ニ於テ敷手沈セリ
 尚、知三小隊艦載機ハ本戦
 斗後バスター夜間爆撃等

(一) 我被害左ノ通
 (二) 龍城丸中破
 (三) 龍野丸中破
 (四) 龍城丸中破
 (五) 龍野丸中破
 (六) 龍城丸中破
 (七) 龍野丸中破
 (八) 龍城丸中破
 (九) 龍野丸中破
 (十) 龍城丸中破
 (十一) 龍野丸中破
 (十二) 龍城丸中破
 (十三) 龍野丸中破
 (十四) 龍城丸中破
 (十五) 龍野丸中破
 (十六) 龍城丸中破
 (十七) 龍野丸中破
 (十八) 龍城丸中破
 (十九) 龍野丸中破
 (二十) 龍城丸中破
 (二十一) 龍野丸中破
 (二十二) 龍城丸中破
 (二十三) 龍野丸中破
 (二十四) 龍城丸中破
 (二十五) 龍野丸中破
 (二十六) 龍城丸中破
 (二十七) 龍野丸中破
 (二十八) 龍城丸中破
 (二十九) 龍野丸中破
 (三十) 龍城丸中破
 (三十一) 龍野丸中破
 (三十二) 龍城丸中破
 (三十三) 龍野丸中破
 (三十四) 龍城丸中破
 (三十五) 龍野丸中破
 (三十六) 龍城丸中破
 (三十七) 龍野丸中破
 (三十八) 龍城丸中破
 (三十九) 龍野丸中破
 (四十) 龍城丸中破
 (四十一) 龍野丸中破
 (四十二) 龍城丸中破
 (四十三) 龍野丸中破
 (四十四) 龍城丸中破
 (四十五) 龍野丸中破
 (四十六) 龍城丸中破
 (四十七) 龍野丸中破
 (四十八) 龍城丸中破
 (四十九) 龍野丸中破
 (五十) 龍城丸中破
 (五十一) 龍野丸中破
 (五十二) 龍城丸中破
 (五十三) 龍野丸中破
 (五十四) 龍城丸中破
 (五十五) 龍野丸中破
 (五十六) 龍城丸中破
 (五十七) 龍野丸中破
 (五十八) 龍城丸中破
 (五十九) 龍野丸中破
 (六十) 龍城丸中破
 (六十一) 龍野丸中破
 (六十二) 龍城丸中破
 (六十三) 龍野丸中破
 (六十四) 龍城丸中破
 (六十五) 龍野丸中破
 (六十六) 龍城丸中破
 (六十七) 龍野丸中破
 (六十八) 龍城丸中破
 (六十九) 龍野丸中破
 (七十) 龍城丸中破
 (七十一) 龍野丸中破
 (七十二) 龍城丸中破
 (七十三) 龍野丸中破
 (七十四) 龍城丸中破
 (七十五) 龍野丸中破
 (七十六) 龍城丸中破
 (七十七) 龍野丸中破
 (七十八) 龍城丸中破
 (七十九) 龍野丸中破
 (八十) 龍城丸中破
 (八十一) 龍野丸中破
 (八十二) 龍城丸中破
 (八十三) 龍野丸中破
 (八十四) 龍城丸中破
 (八十五) 龍野丸中破
 (八十六) 龍城丸中破
 (八十七) 龍野丸中破
 (八十八) 龍城丸中破
 (八十九) 龍野丸中破
 (九十) 龍城丸中破
 (九十一) 龍野丸中破
 (九十二) 龍城丸中破
 (九十三) 龍野丸中破
 (九十四) 龍城丸中破
 (九十五) 龍野丸中破
 (九十六) 龍城丸中破
 (九十七) 龍野丸中破
 (九十八) 龍城丸中破
 (九十九) 龍野丸中破
 (一百) 龍城丸中破

1890 指揮官	
1893 司令官	
1894 第一防備隊 又妙高丸ハ夜戦 ヤン島ニ揚陸海岸一帯ヲ確保セリ 砲台設置箇所視 覺	(一) 何モ敵砲雷撃ヲ受ケル (二) 自雪艦橋左舷ニ被弾 准士官以上二下士官兵四 重傷 下士官兵三輕傷 (三) 夫月風艦橋及機械室 右舷其他數個所ニ 被弾 准士官以上一下士官兵二戰死 下士官兵五重傷 (四) 敷波至近彈ニ依リ推進 器一部小破

一日。四三〇。 吹雪艦長	
一日。一一〇〇。 5d 10 33d 各司令官 11d 司令官	
吹雪機密第一番要 吹雪艦長機密第六號 一〇〇。九。一。ハ。ヒ。島ノ。ニ。七。度。ニ。運。ヲ。針 路。五。度。ニ。北。半。同。島。北。東 約。二。運。ヲ。南。西。向。フ。敵。巡。洋。艦 ニ。復。ヲ。一。〇。料。ニ。發。見。直。ニ。島 ニ。近。寄。リ。姿。ヲ。隠。シ。ツ。一。周。之 ヲ。正。後。尾。ニ。接。接。〇。〇。四。頃 敵。ハ。我。ガ。駆。逐。艦。輸。送。船。砲	察。セ。ル。毛。海。岸。珊。瑚。礁。ニ。テ。接 近。セ。ル。能。天。明。ヲ。待。ツ。テ。更。ニ 調。査。ノ。上。設。宮。ヲ。開。始。ス 二。陸。戦。隊。揚。陸。ト。共。ニ。大。発。ヲ 以。テ。コ。ン。タ。ン。湾。ノ。掃。海。ヲ。開 始。セ。ル。毛。今。迄。ノ。火。機。雷。ヲ。シ 三。夜。戦。ニ。於。ケ。ル。被。害。ナ。シ 〇。六。二。〇

撃手、為面舵変針ニテ一旋回
 終期。〇。四三、ヒニーストニ對
 シ雷撃子引續キ照射砲撃
 フ實施セリ
 真雷ニ革命中、速力急減セル
 フ認ム
 突射雷數九本射距離五〇米
 才後、用左二〇度突射位置
 バビ、角ノ二三三度六厘突射
 彈數十六発
 射撃距離三〇〇。
 〇。三三。油槽船ニ對シ初雷ノ
 射撃手開始ニ引續キ射撃
 突射彈數十七発
 平均射撃距離二五〇。
 三人員兵器異狀ナシ

(27).

一月 〇七 〇〇 司令	
一月 一六 〇〇 司令官	
生存者ヲ君當リ第三號 掃海艇第一號掃海艇 第四號掃海艇ニ配來セシム 戦中概報第八號 當隊令依リ〇二五ノ哨區ヨリ 戦場ニ進出砲戦ヲ實施シツ 右真雷戦及航ニテ真雷戦 ニ转入。一三〇各艇共ニ距離 約二〇〇米ニテ発射(二番艇ハ 既ニ火災航行不能ノ状態ニ アリ)敵一番艇ニ三本二番 艇ニ三本命中敵二番艇ハ	(一)(四) 重傷兵一 輕傷司令一隊附立計少尉 下士官兵六名(内吳鎮在籍者 二)
電	無

航行不能トナレリ消耗兵器
 各艦負傷九弾薬
 叢雲一二粒七砲弾三七
 我被害ナシ
 二〇三三〇Gに於テ敵駆逐艦
 一ヲ発見之ト交戦追撃
 セリ命中弾十数発ヲ得
 タリ
 復敵ハ煙幕展張リテバジ
 鴻ニ遁入ス機雷ノ危険ヲ
 考慮ノ上追撃ヲ取止メ
 名取ニ合同スル如ク行動セ
 艦尾ノ沈下ヲ認めタルヲ以テ
 航行不能ニ陥ルカ多ク損
 害ヲ與ヘタルヲ認め
 消耗兵器十二粒七砲弾一
 自雲一三三叢雲七八

一月一五五四 熱田丸	一月一五五〇 若槻参謀	
一月二〇二〇 名取	一月一七三〇 50d 司令部官	
宛第ニ護衛隊指揮官 一揚警電第九五號 非常ナル御苦心御盡力 ヲ深謝ス 二損傷輸送船四ハ破砕ノ外 高速魚雷艇一攻撃ニ依ル モノ知シ 三今夜以後引續キ現在ノ鎗	ニ派通機長第七番電 并第十六軍司令部官 二月二十八日夜貴戦隊海戦 ノ赫々タル戦果ヲ慶祝シ併 セテ當軍主力ノ戦斗ニ對ス ル献身的の協力ヲ深謝 ス	我被害ナシ 無 電

(0149)

149月
司三〇〇
令〇

50A一日三三〇
各300
司10
令
官

地ニ在リ潮流甚支ナキヤ
目下湾内ニ適當揚陸場ヲ
物色中ナルモ未ダ見當ラズ
三號方面(第四十八師団方面)
トノ連絡全クソナシ該方面獲
衛隊ト連絡其ノ情况ヲ通
知セラレ度

149校密第六三番電
149戦半概報第三號
一初四ハ輸送船隊勇力入泊直
前三五三三ハバンナム港泊地ニ
於テ春風ト共ニ敵艦(掃海艇
又ハ特設砲艦ノ如キ)ヲ砲撃
破壊指込セシム
使用弾數一ニ
三泊地ニ侵入シ來レル敵巡二隻
(Perth. & Houston. 捕虜ノ

(29)

言ニ依リ確實ナリニ對シ
 初雪自雪。一。熾烈ナル
 敵砲火ヲ冒シテ真雪襲
 撃ヲ決行シ（左舷同航方後
 角左一。度三五。米各艦九
 本発射）敵ニ番艦一本
 命中セルヲ確認ス
 本龍襲撃ニ於テ自雪艦橋
 ニ十五榴砲弾一発命中左ノ
 被害アリ
 小主副方は艦射撃手並電路
 破壊
 戦死 信号兵一
 重傷 砲術長航海長
 下士官 兵二
 輕傷 下士官 兵三
 三〇三三〇「バビ」島南方ヲ西航中ノ

三月一日 指揮官	三月一日 指揮官	
三月二日 司令官	三月二日 戒除	
三月五日 第一防備隊司令官	三月五日 戒除	五〇〇。七級敵給油船ヲ砲撃 撃手我ニ被害ナシ 吹雪ノ龍衣敷手状況ハ吹雪機 家山第一番電ノ通 三月五日 機密第五番電 バンタンノ方面三月一日夜間泊 地警戒ニ因シ左ノ通定ム 第一、第四警戒隊ハ担任区 域、内方附近ニアリテ特ニ敵 駆逐艦及潜水艦ニ対シ警戒 戒ヲ嚴ニス 二名取ハ、此区ニ在リテ機宜 行動ス 三其、他警戒隊要領ノ通 三月五日 機密第五番電 第一防備隊司令官ハ、バンタンノ方面

一日 七〇〇 司令官	
二日 〇〇〇五 司令官 2750 司令官 97 14 各長官	
28 校長 第一九番電 バミヤ部隊 戦中概報 第一號一週三月八日 各隊予定ノ如ク行動各地 已共ニ既報ノ如ク上陸成功	内ニ擲出セル敵監視艇ヲ調 査シ敵防備資料ノ蒐集 ニ努ムベシ 第一防備隊司令官ハ所要ノ 掃海スベシ 第一掃海隊司令官ハ三月二日 中ニ掃海水道設標ヲ完 了スベシ 掃海水道設標ハ西側設 標ニ改ム 電

二一、号地巴方面ニ〇〇一五敵艦
 艇ノ來龍アリ所左部隊ハ
 又敵手ニ依リ巡洋艦ニ隻
 マ敵手沈セリ詳細500司令官
 三、隈艦長所報ノ通
 三二、号地巴方面ハ二十八日〇四五
 ヲリ約五時向月明ヲ利用スル
 敵機ノ爆撃手ヲ幾カタルモ被
 害ハシ一隻爆撃手回數能ハ野
 四、破波浦波各一船四一
 三、隈飛行機ハ二十八日〇八三五
 マクランレーン角ノ三二五度五九理
 敵潜水艦一ヲ撃沈
 五、我綜合被害司令官所報
 外
 敵波至近彈ニ依リ推進
 器毀損二一十即以上出ズ

一月二二三。 3時 指揮官	二日。二一。 司令官 南印部隊 各指揮官 各參謀長 次官次長 南印部隊 各司令官 各參謀長	三隈九式水偵二ハ自艦 砲撃ノ爆米風ニ依リ大破 艦内修理不能
3時 機密第六。番電 第三護衛隊戦斗概報 第二號	一、第十一駆逐隊ハ哨巴警戒中 一日の三三。ソワートウエーノ島ノ 西約五哩ニ於テ敵駆逐艦 一ヲ発見シ之ヲ攻撃大損害ヲ 與ヘタリ敵ハ艦尾ヲ沈下シ ツツランバングレ湾ニ遁走セリ 我方被害ナシ	無
二、第十一駆逐隊 初雪吹雪 ハ哨巴警戒中 一日二一三五 ハバビノ島北東海面ニ於テ魚一 雷艇ニヲ伴フ英駆逐艦一	無	無

由良艦長	
二月一〇五五 3万 参謀長	
由良機隊第二四番電 第四警戒隊戦士 概報 第一號	砲艦一ヲ発見ト通シ之ヲ 攻撃ニシテ砲艦ヲ火災 拘出セシメ砲艦ヲ撃テ沈セリ 我ヲ被害ナシ 三 砲見ハ一日一三五五バシタン 湾口ニ於テ敵艦見ノ雷撃 ヲ受テタリ詳細砲見艦長 所報ノ通(砲見機隊長 ニハ八番電) 四 砲見敵艦ノ雷撃ヲ受ケル ヤ名取春風旗風ハ飛行 被ノ誘導ニ依リ之ヲ爆雷 攻撃(計三六個)ヲ行ヒ 砲艦ニ撃テ沈セリ

(22)

神川丸船長

一、第四艦隊ヲ護衛。二、四〇二号
 地区ニ入泊
 陸軍支隊ハ、四〇〇上陸ヲ
 成功一ニエ。カリヤシテ飛行
 場ヲ占領セリ
 敵爆撃機ハ、二十日夜来
 三枚乃至七枚宛計延五
 ヲ以テ、夜間十数回ニ及リ
 來襲。艦船國ニ對シ留撃ヲ
 行フ。其ノ都度、小隊
 五子掃海艇ハ之ヲ砲撃
 敵手退ス
 輸送船ニ若干人員、艦隊ニ
 輕微ナル被害アリシモ、作業
 順調ニ進捗シツアリ
 パトリール地探掃ノ結果
 地雷ヲ見ス

電

四、由良飛行機ハ

廿七日バートル泊地偵察

際ブームアエス島南方ニ於テ

敵四〇〇〇ト級同艦ヲ発見

之ヲ爆撃至近彈ヲ得

大傾斜除行スルヲ認ム

(四) 一日二三〇敵輕巡一駆逐

艦一ヲボボシク角北方ニ

発見通報ヲ觸接敵ハ

バタビヤニ遁入セリ

五、由良ハ一日ブームアエス島

偵察見張所電信所等

ヲ認メズ同島燈台ハ消灯

シアリ

六、由良ハ一日六五地奥六度

四分南二八度東ニ於テ敵

潜水艦ヲ受ケタルモ一魚

二月一二五〇 司令官	
二月一九〇〇 参謀長 27500 参謀長 55 参謀長 2200 参謀長	
連日飛行索敵ノ結果西部 シヤワ海ニハ軍艦駆逐艦ヲ 認メズ 増水艦哨戒艦其他小艇若 干シヤワ沿岸附近ニ伏在 スルハ海峡外及シヤワ島南 電	雷二本之ヲ回避被害ナシ 発射点ニ対シ爆雷攻撃 (六回)ヲ行ヒ更ニ附近ヲ長 目ヲシテ掃蕩セシム 補給ノ為ニ日未明以後各 駆逐艦ハ逐次バートル発 バンタム灣ニ回航ノ豫定 ハ現敵情ニ鑑ミ対潜直衛 隊ノ常時協力ヲ要ス

三月二〇〇 3Eg 指揮官 (南印)	
四月〇二五 司令官 南印部隊 各指揮官 次官次長	
岸方面に残存艦艇アルモノ ト判断ス 3Eg 校長第七三番電 第三護衛隊戦斗概報第三號 一當隊戦斗概報第三號 所報三月一日夜英駆逐艦一 ヲ火災拘坐セシムタルヲ報告 沈ニ改ム 二初雪ハ一日〇二三、バヒレ、島灯 台ノ一七〇度三五五度ニ於テ敵 潜水艦ヲ探知爆雷攻撃 (二個)ヲナス効果不明 三文月昇月ハ一日一九二二 トツパースト灯台ノ三三五度 ニ望ミ於テ飛行機ノ誘導 ニ依リ敵潜水艦ヲ爆雷攻撃ス (各艦九個)	

効果不明
 第一掃隊ハ一日二〇〇〇コ
 ラス岬、七八度五厘ニ於テ
 敵潜水艦ヲ探知爆雷攻撃手
 (計十三個)ヲ入氣泡注ニ重油
 多量ニ浮出シ、効果確實
 五 旗風ハ二日二四五、ニラス岬、
 三三九度ハ五厘ニ於テ飛行機ハ
 誘導ニ依リ敵潜水艦ニ爆雷
 攻撃手(六個)効果不明
 六 初雪ハ二日一三〇、ベロカン島
 一七八度七二厘ニ於テ敵潜水
 艦知爆雷攻撃手(二個)ヲ入
 少量ノ油浮出シ、効果稍
 確實
 七 文月二日一五一五、トソバ島
 灯台 三三五度五五厘ニ於テ

電

飛行機、誘導は依り敵潜水艦、
 爆雷攻撃、敵潜水艦底下に爆音、
 可感不効果稍確実
 八、初雪八二日ハローバビ島灯台
 ノ一三五度セ望ニ於テ潜水艦ノ油圧ニ推進器音ヲ確
 認、飛行機ト協同爆雷
 攻撃(七個)ヲヤス油多量ニ
 湧出シ上部構造物ノ一部
 水面に露出シ、効果確実
 九、自雲ハ哨区終言戒中ト二日
 午前三四ニ互リ敵ヲコンソリデ
 トト型飛行艇ヲ発見之
 ヲ敵手退ス我被害ナシ
 五、一日〇四〇頃第十一駆逐隊
 ノ攻撃手ニ依リ、ランパンダ湾ニ
 遁入セシ敵駆逐艦(エヘルツエ)

ハ其ノ後ノ調査ニ依レバセ
 ブクニ島ニ抽出シ今日一七〇〇
 頃大爆発ノ後沈没セリ
 ニ名取ハ二月バンタン湾外ニ於
 テ英國掃海艇「ハミントン」
 船（約三〇噸）ヲ拿捕セリ
 三、白雪ハ二月バンタン湾内ニ於
 テ南國武裝商船「ウィル
 （三五〇噸）ヲ拿捕セリ
 三、バンタン湾方面陸上道路甚
 シク破壊セラリテ揚子江作
 業進捗セザルニ依リ三日ヨリ
 大部ノ輸送船ヲマラクニ銷地
 ニ転錫揚陸セシムルニトセリ
 四、二号方面戦斗概況由良艦
 長所報ノ通
 （由良キテ二二四号参照）

0163

2234 三日 参謀	379 三日 指揮官
50d 四日 参謀	379 三日 各参謀長 189 各司令官 209 各司令官
2234 校密第五九八番電 貴校密第五六七番電返 敵巡ハサウザンブトン型ニシテ	379 校密第七二番電 バンナム湾地区ノ揚陸兵ハ 予想外ニ不良ニシテ揚陸 行程約二週間ヲ要スル見込 ナルヲ以テ大部輸送船ヲメ ニ転錨揚陸スルコトセリ從 ツテ各方面ノ自地依然ノ敵 ヲ要スル所 149 12dg ヲ歸還セシメ タル今日兵力ノ不足ヲ痛感 ス 1dg 由良ハ三月十日迄 キ残留ノコトニ取計ハレ度 尚 6dg 21dg ハ當分ノ前 コトトシテ速ニ 189 兵力ヲバ 方面ニ増加アリ度
36)	電 無

三月二五〇 司令官	
四月二五〇 3Eg 19dg (扶養) 18 各司令官 襟裳船長 27 37 各長官 11 長官 22 南印部隊 各司令官	
78 機密第一二番電 ハカガ(ニ聯隊欠) 19 (後波欠) ハ 駆逐艦ノ補給終了次第 シンガポールニ回航ス ニ襟裳ハ19 第一小隊ノ補給 終了次第、シンガポールニ回 航スベシ 三松風ハ四日19 第一小隊ノ補給 終了迄襟裳ノ警戒ニ任ジ タル後原隊ニ復航セヨ	午前十時五五分、バレンバン ニ五〇度、九理針路ニ九〇度 連力十六節 一ニ五〇ニ針路ニ九〇度 速力ニ四節トナシ雨後概不 針路ニ三〇度、乃至ニ七〇度 ニテ南西方ニ適走セリ、略

三月二二〇〇
鶴見艦長

四月〇五〇〇
司令官
司令官
司令官
各参謀長

鶴見 被雷 被害 以後 尺旦 夜雨 舷連 續 補給 中ナル 爲 艦底 附近 調査 完了 ナル 毛 判明 セル 損傷 状況 左ノ 如シ
一 左舷 側 (肋材 二三番 ヨリ 二四番迄) 満載 吃水 線下 是サ 一〇米 深サ 約 五米ノ 破孔アリ
二 右舷 側 (肋材 二九番ヨリ 一一番迄) 満載 吃水 線 附近 一五米 平方 其他 水線下 二小 破孔アリ
三 内 舷 隔壁 肋材 切損 五一〇 数個 所アリ 艦内 工作 又 一 防 工作 班ノ 助力ヲ 得テ 應 急 修理 実施ノ 予定

四月。八二五 由良艦長	三月。四〇 27 長官
四月。二一〇 司令官	四月。八一五 南方部隊 各司令官 各長官 28 47 (除三聯隊) 總長 長官
由良機客第三三六番電 二号方面 昨二日ハ敵飛行 機一機宛ニ日來襲セルモ極 メテ消極的ニシテ陸上ヲ攻 撃セルモノ如シ 敵潜水艦ヲ認メズ 敵ハ既 ニ退散セルモノト認ム 輸送船ノサ荷揚ハ全部ト本日 二四〇〇終了 當方面ニ哨三五 又羽風加ハリ警戒中トナリ	27 機客第三四番電 南方部隊 電令第二七號 三月五日附 28 47 (除三聯隊) (各隨伴 駆逐艦ヲ含む)ヲ南印 部隊ヨリ 除キ馬來部隊 ニ編入
〃	電 無

四月一四五〇
3Eg 指揮官

四月一四五〇
一防司令
鶴見艦長
名取艦長

3Eg 指令第八號
鶴見損所ノ應急處置ニ関
シ左ノ通定ム
一 指揮官 第一防備隊司令
補佐 鶴見特務艦長
名取艦長ハ指揮官ノ要求ニ
應ジ之ヲ援助スベシ
二 應急処置要領
一 鶴見特務艦長ハ損所ノ
潜水検査状況ヲ速ニ報
告スルト共ニ指揮官ニ通報
スルモノトス
二 並日通航海ニ差支ナキ程ハ
ニ外銀破口ヲ閉塞スハ概ネ
水線下ニ米（スルト）等ニ係外
マクレラ除去スルモノトス
三 所要器材ハ一防鶴見又最
尾
信

現 有ノモノヲ使用スルモノトシ各
 艦ハ提 供シ得ヘキ木 具 材 料ノ
 寸 度 数 量ヲ指 揮 官ニ通 報
 スルモノトス
 四、 鬼 成 時 機
 三月七日正午ヲ日 達 トシ 成 ル
 ベク 促 進 スルモノトス

C910

3Eg 四月一三〇〇 指揮官	3Eg 四月一三〇〇 指揮官
27 四月一八〇〇 各長官 1K7 参謀長 189	1K7 27 参謀長 H 参謀長
3Eg 校務第七六番電 由良ハ南方部隊電令 一二号通三月四日當方面	一第十六軍主力第二以降輸 送部隊ハバタビヤ方面所 在艦艇ニ対スル爾後ノ燃料 生糧品ハ生糧品ハ既ニ皆無 実情ナリ補給ニ関シ醜態 方取計相成度 進テ補給艦當方面到着 予定通知ヲ得度 二第十六軍主力ノ第二輸送 船団ヲ護る隊(200)ノ補給用 トシテ東動約二〇〇噸三月青 カハラニ灣ニ準備ノ要アリ然 ルベク中醜態ヲ得度

(58)

〃

電

〃

無

四月一七三〇 南印部隊 指揮官	四月一七二五 由良艦長	
四月二三〇〇 南印部隊 神川丸司令官 鶴見各艦長 G7 27 110g 11A7 120g 1K71 149 各司令官 各隻官	四月二五 55d 10 40 各司令官 長官 松風艦長	
南印部隊機密第六四番電 一三月四日由良第十一駆逐隊 第十一駆逐隊第一掃海隊 神川丸鶴見特設駆逐隊 艇二隻船二隻同五日第七 戦隊第四航空戦隊三隊 各随伴駆逐艦ヲ含むヲ夫々	由良校密第三三八番電 一五〇五襟裳沈没位置 四度二十三分南一八度三十三分東 二同艦々長以下一六二名(内重 傷下士官兵五名軽傷下士官 兵一五名)ヲ由良ニ收容ス 戦死八名(内海士官一名) 艦卜運命ヲ共ニセリ救難 ニ從事セル各艦八固有 任務ニ復級ス	昭南島ニ回航セシムルニトセリ 無

3Eg 四月一三〇〇 指揮官	
27 3Eg 四月二二一〇 各参謀長	
3Eg 校密第ハ。番電 由一良、第十一駆逐隊ハ三月四日 南島ニ向ケ便宜當方面 昇。回航スベシ	ハ部隊ヨリ除カル 二三月六日第六駆逐隊 第三 四駆逐隊ハハ部隊ヨリ除カ 第六駆逐隊ハハ部隊ヨリ除カ 第二十四駆逐隊ハ馬來部隊 ニ編入セラル 三第三十四駆逐隊 第六駆逐隊 ハ三月五月以後南方部隊電 令第二二號又第十一航空艦 隊校密第六五五番電ニ依リ 行動スベシ
(39)	

四月一三〇〇
3Eg 指揮官

四月二三五五
3Eg 参謀長

三月四日以後泊地教言戒ニ関
シ左ノ通是ム
(一) 泊地(松風欠)ハメラク方面
泊地ノ警言戒
(二) 自鷹島松風(現任務終了
後)ハバンナム湾泊地ノ警言戒
(三) 泊地2P2Pハバトロール方面泊地
ノ警言戒
(四) 名取ハ機宜行動一号方
面ノ警言戒
(五) 泊地ノ直接教言戒ニ重責
ヲ置直々各方面先任指揮
官所定ニ依ル
三月四日ヲ第一防備隊
司令ノ指揮下ニ入ル

電 無

四月二二〇〇 司令官	
五月〇一三六 部長官 (3万2千各参謀長)	
第一防備隊司令官ハ予定計 画ニ其キハバタビヤモ外ノ 水路啓開泊地ノ掃海ヲ 實施スベシ 一、鶴見船体破損箇所其 後調査ノ結果左舷側(肋 材)ハ番ヨリ一三八番迄) 荷載吃水線下長サ十米 半深サ約五米(最深處 刻尺七米半)其他鶴見機密 第一防備隊、通 聯合工作ニ依リ破口ヲ木材 ヲ以テ閉塞(但シ左舷側ハ水 線下二米迄)波浪ノ浸入ヲ 防シ程度)應急處置完	

四月二三三〇 御指揮官	
五月四三六 3Eg 各1K7 各3K7 参謀長	
三月六日附12dgヨリ除ク 三月五日以後司令ノ定ハル 所ニ依リ行動スベシ 三月四日附由良11dg12dgヨリ3Eg無 三月三日附由良11dg12dgヨリ3Eg無	了手是三月七日 海上平穩ナラハ自力航行ニ 耐エ得ル見込 四、鶴見今後ノ行動ニ関シ 指示ヲ得度 尚鶴見ハ目的地ヲ看越ガ護 衛ヲ要スルモノト認メラルル処 當隊任務ノ關係ニ於テアナルハ 附近迄驅逐艦ニ可ナル當シ 得ル手是雨後護衛ニ關シ 3Eg校容第八番艦
電	無

四月二七三〇
南印部隊
指揮官

五月〇八三〇
南印部隊
指揮官
各隊長
21st 22nd 23rd
各司令官

南印部隊 戦果第六四三番電
諸情報ニ綜合スルニ過般ノ
海戦ノ結果 南印方面敵
艦隊ハ一部小艦艇ヲ除ク外
全滅セルモノ如シ
各隊ハ左記ニ依ルノ外 前任
務ヲ續行持ニ敵艦ヲ捕
ノ鐵滅及敵艦ハ拿捕
ニ努ムベシ
主隊一足柄ノ小隊ハ三月
四日夜現地發 五月五日カ
ツサル入港ノ豫定
55ハ補給終了次第マカツサル
ニ回航スヘシ
以テ根據地隊司令官ハ長良
砲台 21st 22nd 23rd
率ヒハタヒタル方面ニ回航

(41)

第三護衛隊指揮官ノ指揮
 下ニ入ルベシ
 (一) 葉號 駝背艇ハマカツサルニ
 同航 同地ノ警戒ニ任ズベシ
 (二) 2dg (大瀬満潮欠) 2dg (初春欠)
 ハ 2dg 司令指揮下ニ前任務ヲ
 續行スベシ
 (三) 2dg (ハド) クラガン 附近
 2dg 2dg
 空力ヲ指揮シテ明任務ヲ
 續行スルノ外スラバヤレト
 水路ヲ監視スベシ
 11dg 司令長官ハ一部ノ兵力
 ヲ以テスラバヤレ 艦船
 ノ監視ニ任ズベシ 司令官ニ
 協力スベシ

五月二〇〇 海指揮官	五月二〇三〇 南印部隊 指揮官 22/1/17 189部令官
海校幕第八七番電 バタビヤ方面揚陸作業進捗 情悉左ノ通 一、号方面甲乙地区三月夕刻作 業終了輸送船八四日五〇〇 マラクニ発船南港ニ回航セリ (カリマク海峡北口迄海軍護衛 丙地区輸送船ハ一部ハバン 湾ニ於テ大部ハ三日ヨリ逐次 マラクニ轉錫揚陸シツアリ 八日頃概テ作業終了ノ見 込 ニ、号方面四日夜作業終了 輸送船ハ五日一八〇バートル 弁駐南港ニ回航ノ予定 (カリマク海峡北口迄海軍護 衛)	

(42)

五月一三〇〇
3部指揮官

五月二三二五
片部隊
指揮官
南方部
指揮官
G3 1A7 11A7 参謀長
次官 次長
司令官

3部校務部八九番電
第三護衛隊戰鬥概報
一當隊戰鬥概報 第四號
三月一日夜砲艦一ヲ撃テ沈トア
ルヲ掃海艇一箇ヲ撃テ沈ム
同日三號所報名取ノ會ヲ捕セン
「The Akebono」ハ之ナリ
二三日の四五五「バンタ」泊地ニ敵艦
一來龍装セルモ之ヲ撃テ退セリ
我ニ被害ナシ
三三日一六三九「ニコラス」岬ノ八五度
五度（防網ノ位置）ニ在テ機雷
爆發ラシキ水柱ヲ認ム附近
氣浪經ニ油湧出シ敵艦ノ觸
雷セルコト確實（探信儀ニ依リ
確認）
電 無

無

七月二三三〇 3F 指揮官	八月〇八二二 3F 長官	辱ウシ又貴隊ヨリ参加ノ 諸艦艇ハ各其ノ特長ヲ 遺憾ナク発揮シ勇氣戰敢 闘シテ大戦果ヲ收メ得タリ 茲ニ作戦ノ終末ニ當リ衷 心ヨリ感謝ト敬意ヲ表ス
189 司令官	27日 早朝第一防備隊ヨリ バタビヤ方面陸上設置固 係員ヲバンナムニ遣送陸 路派遣セリ	27日 早朝第一防備隊ヨリ バタビヤ方面陸上設置固 係員ヲバンナムニ遣送陸 路派遣セリ

七月二三〇 27 参謀長	
八月一三四〇 南方部隊 各司令官 各参謀長 (20)司令官欠 6dg 2104 各司令官	
27 機務部長 三月十日附艦隊編制 外兵力部署変更発令 場合下雖モ南方部隊兵力 部署変更発令アル迄ハ其 雷戦隊及便隊ノ配属ハ其 任トシ現任務續行ノコトニ承	海ヲ用始セリ 名取飛行機ノ偵察ニ依テ フタビシヨフリオク突堤灯 台ノ一ノ廢四理附近ヨリ南西 方向海面一面ニ機雷敷設 シアルヲ認メタリ機雷敷 六〇個以上 四ノバタビヤルヨリスンダ ニ至ル海面敵水上艦艇商 船ヲ認メス

八月一三〇〇 3Fg 指揮官	九日〇〇四九 片部隊 指揮官 南方部隊 指揮官 馬來部隊 各參謀長 次官次長	知アリ
3Fg 後部第一〇番電 第三護衛隊 戦斗概報 第五號	第一防備隊又第三工水雷隊 (二小隊欠)ハ七日〇五〇〇バンタン 湾岸トバタンヤル港外ニ進出 水路啓開ヲ以テ泊地掃作業 ヲ開始セリ機雷船ニ後名取雅行機ハバタ (機雷船六〇個以上)ヲ発見 右水路啓開作業ニ協力セリ 七日二一五〇第三工水雷隊 (第一小隊欠)ハ「エダム」島ヲ 占領セリ 七月中ニ於ケル処分機雷三個 処分防掃具二 二春風ハ八月〇九ニ九「ニコラス」岬	無

八月一九。〇 3Fg 指揮官	
九月〇五三〇 南印部隊 指揮官 22dg 司令 3Fg 司令官 1K7 参謀長 西貢旋有場人官	
3Fg 校長等。三番電 第十七軍第二次輸送ニ関シ左 ノ通現地陸軍ト協定セリ 一輸送船集合日時場所 三月十二日頃カムラン湾 二輸送船隻数約十二隻 三カムラン湾三月十五日頃出奔シ	ノ四五度ニ八里ニ於テ飛行 機ノ飛見セル敵潜水艦ニ 對シ爆米雷攻撃等一計四ヲナス 効果不明 三八日二二〇「バンタン」泊地ニ敵 機一機出現セルモ向モナク南方 ニ逃避セリ 四名取飛行機ハ連日「スングレ」 海峡「バタビヤ」方面ヲ索敵シ ツツアルモ敵ヲ見ズ

八月九日 3Eq 指揮官	
九月五日 3Eq 37 参謀長 189 司令官	
3Eq 機密第一回電 3Eq 電令作第七号 第三十二駆逐隊司令ハ 3Eq 機密 第一回電(第二回輸送ニ関スル 協定要旨)ニ基キ第十六軍 第二回輸送部隊ノ護衛ニ 任スベシ	三月二十二日頃「バタビヤ」着 (バタビヤ入泊不能ノ場合ハ 「バンタム」湾) 四護衛兵力 第三十二駆逐隊 五護衛ノ細項ニ関シテハ 224 員 第二回輸送部隊指揮官 (第四十三兵站地区隊長)間 協議ニ依ル
電	無

八月十四日
海軍指揮官

九月十六日
海軍司令官
海軍航空部隊
指揮官
愛良 21/10/19
日部隊 21/10/19
参謀長

海軍第一〇〇番電
一、海軍根據地隊司令官ハ、バンタム島、
泊地敬告戒、経ニ、バンタム島上陸、
根據地ノ設置（陸上ニ移ル）海軍
諸機関ノ設置ヲ含ム）ニ任スベシ
第二、護衛隊兵力中、第一防備隊
（妙高丸）第三十一水雷隊（三隊欠）
白鷹ヲ第一根據地隊司令官ノ
指揮下ニ入ル
第二、根據地隊司令官ハ、自、
ラシニ、第三護衛隊電令作、
六号ニ依ル任務ニ従事セシムル
ト共ニ、所要期間、駆替、
一、隻ヲ増派シ、バトール泊地
ノ敬告戒ニ任セシムベシ
第三、護衛隊（第一防備隊（妙
高丸）第三十一水雷隊（三隊欠）

九月一五二〇 南印部隊 指揮官	九月一七〇〇 3Fg 指揮官	
九月一三九 南印部隊 指揮官 1K2 3K2 4K2 11A 總各長官	九月一九三〇 南印部隊 指揮官 1K2 3K2 4K2 11A 總各長官	
自廉島(缺)又第航空部隊 ハ現任務ヲ續行スベシ 一第五駆逐隊小陽丸 第一南遣 三月十日第二南遣艦隊改編 二伴ヒ各隊(艦)ハ左ニ依リ行 勤スベシ	一軍需品陸揚ノ為九日輸送 船四隻一号方面ヨリ二号方面 ニ轉進セリ揚陸行程三日ノ 予定 後日「バタビヤ」泊地ニ回航ス (病院船其ノ他)六隻トナリ バンタンニ湾ニ残留輸送船 終了セリ空船十日帰還後無 一号方面揚陸作業九日午前 3Fg 機長等一八番電	無

艦隊司令長官所定
 二 日祐丸 西安丸 讃岐丸 第三〇
 掃海隊 第三二 掃海隊
 第三一 駆潜隊
 第三南遣艦隊長官所定
 三 神川丸 第四艦隊長官所定
 四 其他、隊（艦）ハ新軍隊
 區分發令迄現任務ヲ續
 行スベシ
 五 日部隊 軍隊 區分ニ左ノ通
 追加ス
 潜水部隊（司令官）第六
 潜水戦隊
 第三潜水隊 及 第三潜水
 水艦ハ指揮官所定ニ依
 リ内地ニ配投整備ニ
 従事スベシ

10日10 27 長 官	
10日20 南方部隊 補給部隊 長 官 長 官	
27 校長 第六九番電 南方部隊電令第一二七號 第一隊第四期兵力部署 ニ於テ南方部隊兵力部署 ハ左ノ外特令スル迄現状ノ 儘トス 一 37 第一南遣艦隊ニ 37 長 官 ヲ 27 長 官ニ改ム 二 三月十二日附 549 ヲ南印部隊 ヨリ除キ馬來部隊ニ編入ス 三 249 ヲ馬來部隊ヨリ除キ非 島部隊ニ編入ス	(四) 爾余ノ隊(般)ハ日全官所 定ニ依リ行動セヨ 無

四、参

(1) 麾下艦船部隊、行動

別表第一、通

(2) 戦訓

第五水雷戦隊戦斗詳報第四號参照

(3) 写真

第五水雷戦隊戦斗詳報第四號参照

五、作戦経過概要

別表第二、通

(終)

0610

別表

第一

麾下艦隊行動

五	四	三	二	一	日
ン	ハ	航 バン タン 三 海	航 バン タン 三 海	港 外 警戒	名 取
航	一五〇〇	警戒	泊地	ハラタ	文月
航	一五〇〇	上	同		年月
八〇〇		警戒	泊地	ハリス	星月
航 八〇〇		上	同		火月
		警戒	港外	バン タン	春月
		上	同		秋月
		上	同		朝月
航 三〇〇	航 三〇〇	護衛	襟裳	松岡	松岡

[illegible]

別表第二
作戰經過

概要

昭和十七年三月

第五水雷戰

隙

ニ			
湾ムタンバ		二二四	
		半晴曇	
		東三東四	
		二〇二〇	
隊		艦部	
隊			
二五五度風ハ「ゴラス」 岬ノ五九度八五度ニ 於テ飛行機ノ誘導ニ コ依リ敵潜水艦ヲ攻撃 攻撃手(効果不明) 二五五度月ハ「トッパ」 照灯台ノ三三度五五度 ニ於テ敵潜水艦ヲ攻撃 (効果確ニ実) 三名取英小掃海艇 「Simile Lee」ヲ拿捕ス 四名取英風潮風鶴見 コリ燃料補給		六、八、龍、驤ヨリ燃料補給 (効果不明) 潜水艇ヲ爆雷攻撃 新左衛門 海軍艦上 投信用不 能人前被 害十シ	

1610

三		四		五	
1000		5°~48'8 106°~8E		航路 ・三 ・二 ・一	
雨		半晴		雨	
西南西東北東		西二東北東		南東	
三〇 二七 一〇		二〇 二九 五〇		二〇 二七 一〇	
第		三		艦	
三		第		三	
一、名取。五二、バンナム 二、文月。五二、バンナム 三、輸送船十隻。五二、バンナム 四、衛。メラク。五二、バンナム 五、三。五二、バンナム 六、三。五二、バンナム 七、三。五二、バンナム 八、三。五二、バンナム 九、三。五二、バンナム 十、三。五二、バンナム		一、名取。五二、バンナム 二、文月。五二、バンナム 三、輸送船十隻。五二、バンナム 四、衛。メラク。五二、バンナム 五、三。五二、バンナム 六、三。五二、バンナム 七、三。五二、バンナム 八、三。五二、バンナム 九、三。五二、バンナム 十、三。五二、バンナム		一、名取。五二、バンナム 二、文月。五二、バンナム 三、輸送船十隻。五二、バンナム 四、衛。メラク。五二、バンナム 五、三。五二、バンナム 六、三。五二、バンナム 七、三。五二、バンナム 八、三。五二、バンナム 九、三。五二、バンナム 十、三。五二、バンナム	
一、名取。五二、バンナム 二、文月。五二、バンナム 三、輸送船十隻。五二、バンナム 四、衛。メラク。五二、バンナム 五、三。五二、バンナム 六、三。五二、バンナム 七、三。五二、バンナム 八、三。五二、バンナム 九、三。五二、バンナム 十、三。五二、バンナム		一、名取。五二、バンナム 二、文月。五二、バンナム 三、輸送船十隻。五二、バンナム 四、衛。メラク。五二、バンナム 五、三。五二、バンナム 六、三。五二、バンナム 七、三。五二、バンナム 八、三。五二、バンナム 九、三。五二、バンナム 十、三。五二、バンナム		一、名取。五二、バンナム 二、文月。五二、バンナム 三、輸送船十隻。五二、バンナム 四、衛。メラク。五二、バンナム 五、三。五二、バンナム 六、三。五二、バンナム 七、三。五二、バンナム 八、三。五二、バンナム 九、三。五二、バンナム 十、三。五二、バンナム	
一、名取。五二、バンナム 二、文月。五二、バンナム 三、輸送船十隻。五二、バンナム 四、衛。メラク。五二、バンナム 五、三。五二、バンナム 六、三。五二、バンナム 七、三。五二、バンナム 八、三。五二、バンナム 九、三。五二、バンナム 十、三。五二、バンナム		一、名取。五二、バンナム 二、文月。五二、バンナム 三、輸送船十隻。五二、バンナム 四、衛。メラク。五二、バンナム 五、三。五二、バンナム 六、三。五二、バンナム 七、三。五二、バンナム 八、三。五二、バンナム 九、三。五二、バンナム 十、三。五二、バンナム		一、名取。五二、バンナム 二、文月。五二、バンナム 三、輸送船十隻。五二、バンナム 四、衛。メラク。五二、バンナム 五、三。五二、バンナム 六、三。五二、バンナム 七、三。五二、バンナム 八、三。五二、バンナム 九、三。五二、バンナム 十、三。五二、バンナム	

六	七	八
---	---	---

湾

山

半晴 南五 北三 二六 二〇	半晴 南〇 北三 三九 二〇	晴 南一 北三 三三 五〇
----------------------------	----------------------------	---------------------------

五

第

隊

護

一水無月一〇〇〇トバシ タムト祭	一水無月三〇〇般選 輸送船十隻護 衛トバシト祭	一旗風〇八〇〇鷗見 ヲ護衛シトバシト 祭
一水無月鷗見ヨリ 燃料補給 二松風神川九ヨリ燃料 補給	一水無月朝風 鷗見ヨリ燃料補給 二名取飛行機トバシト 塔外機雷原発見 一防ノ水路啓開作 業ニ協力	一水無月八二〇三 スルハ二四五八三三 於テ飛行機ノ誘導ニ 依リ敵機ノ爆雷攻撃 數ヲ実施(効果不明) 二二〇トバシト祭 校ニ機来ト装向メナク 南方ニ逃避ス
一鷗見 二松風 三松風 四松風 五松風 六松風 七松風 八松風 九松風 一〇松風 一一松風 一二松風 一三松風 一四松風 一五松風 一六松風 一七松風 一八松風 一九松風 二〇松風 二一松風 二二松風 二三松風 二四松風 二五松風 二六松風 二七松風 二八松風 二九松風 三〇松風	一防老遺隊 二陸路トバシ 三松風トバシ 四松風トバシ 五松風トバシ 六松風トバシ 七松風トバシ 八松風トバシ 九松風トバシ 一〇松風トバシ 一一松風トバシ 一二松風トバシ 一三松風トバシ 一四松風トバシ 一五松風トバシ 一六松風トバシ 一七松風トバシ 一八松風トバシ 一九松風トバシ 二〇松風トバシ 二一松風トバシ 二二松風トバシ 二三松風トバシ 二四松風トバシ 二五松風トバシ 二六松風トバシ 二七松風トバシ 二八松風トバシ 二九松風トバシ 三〇松風トバシ	一島占領 二松風トバシ 三松風トバシ 四松風トバシ 五松風トバシ 六松風トバシ 七松風トバシ 八松風トバシ 九松風トバシ 一〇松風トバシ 一一松風トバシ 一二松風トバシ 一三松風トバシ 一四松風トバシ 一五松風トバシ 一六松風トバシ 一七松風トバシ 一八松風トバシ 一九松風トバシ 二〇松風トバシ 二一松風トバシ 二二松風トバシ 二三松風トバシ 二四松風トバシ 二五松風トバシ 二六松風トバシ 二七松風トバシ 二八松風トバシ 二九松風トバシ 三〇松風トバシ

事	記
四 二月十四日	一、三月十二日。九〇〇。水無月「カムラ」湾着
三、三月十三日	二、三月十二日。一四三〇。旗風 昭南島着
二〇〇	春風 昭南島着
朝風 松風 昭南島着	